

# Symbiosis Letter

[シンビオシス レター]

2021  
4

## 研修のご案内

受託先であるトヨタ白川郷自然学校を活用し、研修プログラムを提供しています。日常業務とは異なる課題解決型グループワークを通じて、企業人に求められるヒューマンスキルの向上に寄与するプログラムをご提供いたします。また、連帯感を強くコミュニケーションを醸成することを目的としたプログラムや、社会貢献活動や環境意識の向上など、目的に沿ったプログラムをご提案しています。

### ■自ら考え、自ら行動する企業人を育成するグループプロセス実習

**例** 合意形成が求められる課題達成型グループワークを通じて 組織行動において大切なことや、参加者自身の態度への気づきを促し、普遍的なヒューマンスキルを啓発します。



社会行動経験学習



グループ登山



夜の語り



雪の森のオリエンテーリング

【その他のプログラム】

- 社会行動経験学習
- オリエンテーリング
- 小講義
- コミュニケーション実習
- ふりかえりとわかちあい



- NPO法人 白川郷自然共生フォーラムは、トヨタ白川郷自然学校の運営ならびに地域の自然保全活動などに取り組んでいます。会員(法人・個人)は随時募集しています。
- 会員になられた方には(宿泊費・イベント参加費の割引)や(会報の送付)などの特典があります。会員登録方法については下記へお気軽にお問い合わせください。

### 車でのアクセス

- 東名高速・名神高速一宮JCT→東海北陸自動車道(2時間)→白川郷IC→国道156号線から白山白川郷ホワイトロード方面(10分)→トヨタ白川郷自然学校
- 北陸自動車道小矢部砺波JCT→東海北陸自動車道(40分)→白川郷IC→国道156号線から白山白川郷ホワイトロード方面(10分)→トヨタ白川郷自然学校

発行者

NPO法人 白川郷自然共生フォーラム  
Forum for Environmental Symbiosis in Shirakawa-go

〒501-5620 岐阜県大野郡白川村馬狩223(トヨタ白川郷自然学校内)  
TEL.05769-6-1185 FAX.05769-6-1287  
Mail. info@f-ess.com HP. https://f-ess.jp



ごあいさつ

理事長 田中 泰

## 「No outdoors, No life!」

今年のサクラは全国的に早く咲きました。咲きたくて咲きたくて我慢できなかったかのようです。一方で我々人間も抑圧された状況から解放されて早く外へ行きたくて行きたくてたまらない、そんな機運が高まっているようにも感じます。

この1年を振り返ると、様々なオンラインコミュニケーションが加速しました。現地に行かなくても、あるいは直接会わなくてもその様子がある程度分かるので、移動制限がかかる状況においては大変助かりました。

当初は「これは良い」といつていましたが、徐々にそれは「電話よりは良い」という程度のことだと認識を改めた方もいらつしやると思います。やはり少しでもいいから会って話がしたい、顔を見たい、同じ空気を共有したい、と思う方も多かつたように感じます。むしろそういう欲求が意外なほど強いことに気付かされました。

そして人だけでなく、野鳥のさえずりや道端の草花にたまたま出会ったときにも期せずして心が潤い、癒された方も多しはずです。

直接出会うことへのニーズは確実にあると感じております。感染状況をにらみつつ、昨年度不足した分を取り戻すべく2年分の自然体験を皆様へ。思いを新たに取組んでまいります。

ここしか味わえない自然体験の数々を!!







## トヨタ白川郷自然學校



2020年度もトヨタ自動車(株)から委託を受け、「トヨタ白川郷自然學校」の運営を行い、年間延べ約6,700人(2020年2月時点)の方にお泊り頂きました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、トヨタ白川郷自然學校でも2020年4月・5月は休校となりました。その間は森の整備を行うなど、お客様が戻られたときに自然の中で気持ちの良い時間を過ごしていただく準備をしました。

営業再開後には、徹底した感染症対策を講じながら、アクティビティラインナップ計19、家族キャンプ計3を実施し、延べ2,820名様(2020年2月時点)の方にご参加いただきました。また今年度は新たな試みとして、近年多発する災害を意識した防災教育の一環として、『車バイバル』キャンプを実施しました。また、車いすユーザー限定のア



クティビティも開発しました。2021年度も引き続き委託を受け、様々なお客様に、多様なアクティビティと美味しい食事で、自然の中で過ごす楽しさをお伝えしていきます。



## ホームページ リニューアル



<https://f-ess.jp>

当法人のホームページをリニューアルいたしました。これまでのホームページからイメージを一新し、明るく爽やかなページとなりました。写真も多数掲載し、会員の皆様により活動内容を身近に感じていただけるようにしてまいります。また会員様向けのページを新設し、活動のご案内やキャンペーンなどお知らせ・確認していただくことができるようになりました。ぜひお時間のある時に、新しいホームページをご覧ください。

## 白川村でもしもを生き抜く スキルアップ学習〈里山遊び塾〉

2005年より白川村の支援を受け、健全な放課後活動の推進や地域の教育力の向上、豊かな自然環境への理解を目的として、村の子どもたちへ様々な体験を提供しています。今年度より新たな取り組みとして、「72時間サバイバル教育(72時間サバイバル教育協会)のカリキュラムを利用し、村の子供たちの、災害時に自分を守る「自助」、他人を助ける「共助」の力を育むためのプログラムを実施。1年生から8年生まで様々な課題に取り組ましました。



## 大 白 川

「白川村指定管理」

白川村より「白山ブナの森キャンプ場」、「白山レイクサイドロッジ(及び周辺施設)」並びに「大白川露天風呂」の指定管理を受託いたしました。2020年度はアクセス道路の通行止めにより、キャンプ場の運営はできず、白山レイクサイドロッジと露天風呂のみ10月下旬約20日のみの運営となりました。しかしながら営業時にはお天気にも恵まれ、限られた期間ながらの約950人のお客様にご利用いただきました。





# 大窪池を愛する会 活動報告

白川村の景勝地である大窪池の、ミズバショウ、カタクリ、ギフチョウなど豊かな自然を多くの方が親しめるように、2020年度も計4回、のべ84名の会員の方々と白川村有志の方々と、草刈りや周遊路の修繕等で汗を流しました。

白川村から消耗品に関する補助を頂き、いこいの広場づくりや、泥濘で歩きにくかった箇所集中的に手を加えるなど、利用しやすい環境を整えました。コロナ感染対策を講じた制約ある中での実施となりましたが、自然の中での作業は心地のよい時間となり、参加者の皆様の顔にも笑顔が広がりました。

2021年度も年4回の実施を予定し、継続した維持管理活動を行ってまいりますので、皆様のご協力をお待ち申し上げております。

自然の中での作業は心地よい時間です！



## 登山届回収

アウトドアでの活動を推進する当フォーラムでは、安全に楽しく白山を楽しんでいただくべく、白山連峰の一部における登山届の管理及び登山指導を白山山岳遭難対策協議会より委託を受け、その業務を実施しております。

昨今は「コンパス」(インターネット上で提出できる登山届)の活用も増えていると思われませんが、紅葉シーズンは天候にも恵まれ多くの方が山を楽しみ、登山届も多く提出されました。今冬は雪も多く、その自然の美しさに癒される一方、1月には大規模な雪崩も発生。幸い夜中の発生だったため人的被害はありませんでしたが、山を楽しむためにもやはり登山届の提出は必須であり、その安全意識の向上に今後も貢献してまいります。



## 人材交流

2020年度も昨年度に引き続き他団体(「国際自然大学校」(東京))との人材交流を実施いたしました。アクティビティスキルや知識の習得、森や動植物の魅力の再発見など、今年度も職場、同僚にとっても良い刺激となりました。新型コロナウイルス感染症の影響で今後の計画は未定ですが、ぜひ様々な団体との交流が実施できるよう図ってまいります。

## エコツーリズム推進全体構想

### いよいよ認定へ

当フォーラムが事務局として協力している「まるごと体験協議会」が白川村と一体となり活動してまいりました、エコツーリズム推進法に基づく『エコツーリズム推進全体構想』について、新型コロナウイルス感染症の影響等により認可が遅れておりましたが、2021年春いよいよ認定となる見込みです。

認定後の円滑な運営を行うための準備として、2021年5月頃には「白川郷まるごと体験協議会」の組織が拡充され、全体構想の推進とモニタリングを行う予定です。併せて「白川郷まるごと体験協議会」の傘下事業者へ全体構想を周知するための説明会等を行い、エコツアー催行等のルール(遵守事項+モニタリング)及び規制緩和(送迎)のルール徹底を図っていく予定です。

## 令和2年度の林野庁補助事業、新たな森林空間利用創出対策のうち「森林サービス産業」創出・推進に向けた支援事業に認可され「モデル地域」に選定されました



「森林サービス産業」とは、山村の活性化に向けた「関係人口」の創出・拡大のため、森林空間を健康、観光、教育等の多様な分野で活用する新たなサービス産業です。  
運動栄養休養のバランスを意識したモニターツアーの実施、企画のためのオンライン研修を受講しました。将来的には白川村における一つの産業として成り立つようなモデルプランの開発に取り組みしました。

## 環境省令和2年度(補正予算)国立・国定公園への誘客の推進事業費及び国立・国定公園、温泉地でのワーケーションの推進事業

### 「山で遊び、学び、元気になる Go To HAKUSAN Project」の実施

新型コロナウイルスの感染拡大防止のために失われてしまった青少年の自然体験機会を少しでも提供するため、桂湖を主会場に現地集合・解散の家族キャンプを実施したほか、現在申請中のエコツーリズム推進法に基づく白川村エコツーリズム全体構想での実現をめざす二次交通とガイドサービスが一体化した三方岩岳登山ツアーを実施しました。これらの事業を通じて10組25人の方々に白山国立公園の大自然にふれる体験を提供したほか、山歩き愛好家のWebコミュニティなど4万人以上の入りに三方岩岳をはじめとする白山国立公園の魅力発信しました。

